

## 第77回 GAORA 番組審議会記録(2022 年 6 月開催)

第 77 回番組審議会が 6 月 2 日(木)に開催され、以下の番組について審議を行い委員の皆様から次のようなご意見をいただきました。

**<審議番組>** データで解くプロ野球 阪神タイガース秋山拓巳の不思議なストレート  
初回放送:2022 年 3 月 12 日(土) 12:25~12:55

### <番組概要>

2021 年、リーグ唯一の 2 年連続二桁勝利を手に入れた阪神タイガース 秋山拓巳。  
球速 160 キロを超える投手が現れるなか、彼の投じるボールはわずか 137 キロ。  
それでも、ひとたびマウンドに立てば相手打者を次々と翻弄。他球団から「不思議なストレート」と称された彼の投じるボールとは一体！？  
様々な視点から分析するとともに、球質そのもののデータ解析を行い紐解いていく。

### <委員長総括>

■『不思議なストレート』というタイトルキーワードは、秋山選手を知らない人でも興味を持ち、視聴者の幅を広げる意味があったと思う。各委員からいろいろとご意見は出たが、総じて評価の高い番組であった。評価の分かれるところとして、30 分という限られた時間枠の中で不思議なストレートについて科学的に深掘りする部分と、彼の人間的な魅力や努力する姿を描く部分と、そのバランスや構成が難しいところなのであろう。  
スポーツをプレーするのはアスリートである人間で、その見えない魅力を如何に引き出していかかに番組として価値があった。そして今回、スポーツをデータ面から科学的に見せることも新しいチャレンジであったと評価する。

**<審議意見>**委員の主な意見は次の通り。

■決して体力面で優れた剛速球投手ではない秋山選手にスポットをあてた視点は良かった。  
秋山選手の人となり、努力する姿は見る側に伝わり彼を応援してほしいという制作者の気持ちは伝わってきたが、「データで解く」の側面については正直なところ消化不良であった。  
『回転効率』とは何か、何故その数値が高いのかが理解できなかった。科学的な切り口での説明がもっとあればと思う。

■番組は、全体を通して分かりやすく楽しめた。データの表示も比較も分かりやすかった。本人のコメントもゆっくりですんなりと理解でき、画面を通して人間性が伝わってきた。  
怪我をしても投げ出すことなく、そのハンディを生かして地道な努力や工夫を続けることが結果に繋がっていき、見終わった感想として視聴した自分も励まされるように感じた。

■今回は、科学的な視点やデータをもとにした番組でいいチャレンジであったと評価する。  
ただ、科学的な面を満足させようとするハードルが上がっていく。敢えてコメントすると、膝の怪我については具体的にどのような負担がかかるのか、科学的、医学的な説明がもう少しあればと感じた。また、『回転効率』とは何を示しているのか数値の意味するところをもう一歩踏み込んで説明して欲しかった。

■スポーツチャンネルの視聴者は、より詳しくスポーツを掘り下げて欲しいと期待している方が多いと思うので、番組名になっている「不思議なストレート」を紐解くためのデータ収集や解析部分をもう少し厚めにしてもらいたかった。一方、「秋山選手を応援するファンが1人でも増えることを願っている」という制作者の意図は、彼の考え方や人となりを描くことでしっかり伝わる内容であったと評価する。

是非、野球選手のデータに特化した続編番組を期待したい。

■各球団は、選手本人からマーケティングに及ぶまで広範囲の各種データを収集している。  
今回データを取り上げた番組を制作したことで、一般の方にも科学的なデータが活用されている一端に触れる機会となったと思う。また、秋山選手のインタビューには、字幕スーパーを付けていて分かりやすく丁寧な作りであった。

30分はあっという間に見終えたので60分番組でもありなのではないか。

■本番組は、大変興味深い内容でおもしろく高く評価したい。私は、番組構成として不思議なストレートについて解説するデータ面と秋山選手の人間性を描く場面とよくバランスが取れていたと思う。秋山選手の真摯に取り組む姿勢にひき付けられ、コメントは一言、一言が非常に重くもって話を聞きたいと思わせるものがあった。30分の番組としてしっかり内容が詰まっていた。  
番組タイトルに『不思議なストレート』というキーワードがあるが、『秋山拓巳』という選手自身を押し出し、その中にストレートもある、そのデータもある、本人の人間性と魅力もあるというストーリーでも良かったかもしれない。

GAORAでは、これらの貴重なご意見を、これからもより良い番組をお届けしていくために大いに活用させていただきます。

[審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、山本泰博委員（以上7名）

以上